表敬



念願の優勝とこれからの目標

キッズトライアスロン優勝報告

2026オールキッズトライアスロンジャパンと第40回長良川国際トライアスロン大会で好成績を収めた、宮里琉生（みやざとるい）さん（西崎中）、俐玖（りく）さん（光洋小）が、その喜びを報告するため、10月9日（金）に市役所を訪れました。優勝した琉生さんは「今回は念願の優勝でした」と喜びを語り、準優勝した俐玖さんは「準優勝だったので、うれしい気持ちと悔しい気持ちが半分ずつです」と振り返りました。

表敬



有言実行の頂点へ!

沖縄空手世界大会優勝

7月30日（木）から8月2日（日）にかけて行われた第3回沖縄空手世界大会で、那覇手系少女1の部門で金賞に輝いた照屋夏美（てるやなちゆら）さん（糸満中）が喜びを報告するため、10月8日（木）に市役所を訪れました。同大会には49の国と地域から約3,000人が参加し、各流派伝統の「型」で技術を競い合いました。照屋さんは「4年前の大会で3位だった時は悔しかったですが、今回1位になれてよかったです」と話しました。

表敬



5歳から継続!全国舞台で活躍

トライアスロン大会入賞報告

7月に開催された第40回長良川国際トライアスロン大会の中学生の部で第3位、9月に開催された2026オールキッズトライアスロンジャパンの中学生の部で準優勝に輝いた、知名純希（ちなあつき）さん（糸満中）がその喜びを報告するため、10月6日（火）に市役所を訪れました。知名さんは「高校生になると格段にレベルが上がるので、そこで戦えるよう、支えてくれる周りの人への感謝を忘れずに頑張りたいです」と話しました。

表敬



好きを極めて…

第77回沖展書芸部門 準会員賞を受賞

令和8年度第77回「沖展」書芸部門で準会員賞を受賞し、その喜びを報告するため、西澤恒子（にしざわつねこ）さんが10月6日（火）に市役所を訪れました。西澤さんは「書芸の漢字一文字で意味を伝える力に感動して、文字を書くことの大切さを実感しています。受賞をすることを目標にしていたわけではなく、好きで続けていたこと、ずっと継続していたものが今回の受賞に繋がりました」と話しました。

催し



平和の思いと操船技術を継承

帆掛けサバニ南海岸平和クルーズ

10月18日（日）、糸満帆掛けサバニ振興会主催の帆掛けサバニ南海岸平和クルーズが行われました。同クルーズは、戦後80年を迎えた昨年、平和の尊さを伝える南海岸を渡るとともに、今に生きる海人文化の操船技術を次世代に継承する目的で初開催され、今回で2回目の開催。当日は県内外から参加者が集まり、合計9艇でスタート。平和祈念公園沖では献花も行われ、参加者は静かに手を合わせました。

地域の絆



幅広い年代がボウリングで絆を深める

名城ボウリング友の会が結成50周年を迎えました



名城ボウリング友の会が結成50周年を迎え、10月14日（水）に那覇市のスカイレーンに会員が集まりました。同会は1976年に名城地区の住民らが結成し、現在の会員は30人。名城住民のほか、名城地区にゆかりのある30代から80代の幅広い年代が所属し、ボウリングを楽しみながら交流を深めています。87歳で初期メンバーの新垣義廣（しんがきよしひろ）さんは「仲間と一緒に喜んだりすることが楽しい」と笑顔を見せました。

締結式



給付型奨学資金で、子どもたちを応援!

クリぞう・糸満奨学資金の協定締結式



10月7日（水）、糸満市と一般社団法人普久原未来のための事業団が、クリぞう・糸満奨学資金に関する協定締結式を市役所で行いました。同協定は、家庭環境に左右されず、夢へ挑戦できる環境づくりを目的として、法人から受けた寄付を活用し、高校や大学に進学する学生へ給付型奨学資金を届けるものです。代表理事の有田英樹（ありたひでき）さんは「子どもたちの未来のために、協力できてうれしいです」と話しました。

締結式



資材活用と道路補修をつなげる

道路の応急補修等に関する包括協定書締結式

10月7日（水）、糸満市と有限会社丸正開発、株式会社第一三興建設が、道路の応急補修等に関する包括協定の締結式を市役所で行いました。同協定により、市道で修繕が必要な場所などを両者へ提供し、事業者が持つ知識や技術のほか、業務の余剰資材を活用して、道路を応急補修することが可能となります。當銘市長は「公共インフラの修繕に対して、ご理解とご協力をいただき感謝いたします」と話しました。